

題材 「走ろう！」 ○時間中の第1時

(1) 学習のねらい

どうしたら速く走れるようになるかと思っている子どもたちはおなかの力に出会い、おなかの力を意識することを通して、腕を振ること、まっすぐに走ることの大切さに気づき、友だちと共に走ることに取り組むことができる。

(2) 本時の学習材

おなかの力

○運動会に向けてかけっこのタイムを計った子どもたちは、速く走れるようになりたいと願っている。速く走れるようになるためにはどんなことをすればいいのだろうという疑問を捉えたところで、本学習材を提示する。

○本学習材は、おなかの力である。おなかの力を入れることにより、腕を大きく速く振ること、まっすぐに走ることにつながり、さらにそれがタイムを縮めることにつながると気付くことが期待できる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 準備運動	学習問題 より速く走るためにはどうすればよいか。 ・ 走ることに好きだよ。 ・ 運動会でかけっこがあるよ。 ・ 走ることはあんまり得意じゃないよ。 ○ どうすれば早く走れるようになるんだろう。	5'	・ 前に測定したときを思い出し、速く走れるようにどんなことを注意しているか、走るときのコツは何かないか問いかける。 ・ どうすれば速く走れるようになるかなあという雰囲気を作る。 ・ 体遊びをするときに、周りの人に気を付けて間隔をとるように促す。 ・ なぜこの遊びをするのか理由を説明し、それを意識して活動できるようにする。
	おなかの力を使って走ろう。	学習課題	35'	
展開	2 芝生でひっくり返し、 ・ スキップ（速く、遠く、高く） ・ ジャンプ（つま先、かかと、遠くまで、がに股） ・ 走る（お互いの走る姿を撮影しあう）	・ 腕を速く振るときにおなかに力を入れていたんだ。 ・ うまくひっくりかえせない。 ・ 遠くまでジャンプするとき腕を大きく振るなあ。 ・ こんな風に走ってたんだ。 ・ 腕ちゃんと振れたよ。 ○ 走るの面白いな、楽しいな。		
終末	3 振り返り		5'	学習材 おなかの力 ・ 走るときは男女2グループに分けて走る。この時、走っていない子たちで、走っている子の様子をiPadで撮影しあうように促す。 評価 ポイントのどれか一つ以上を抑えて取り組めた。 ・ ふり返りで今日やったことの確認、子どもたちの様子がどのように変化したか考える。